

ますます増える世界の孤児たちに希望の人生を

孤児院に入ってくる子どもたちは、HIVに感染している孤児もおり、両親がいない子どもはもちろん、生年月日の分からない子どもや、もし孤児院に来ていなければ間違いなくもう生きてはいなかったと思える子どもたちばかりです。

現在、礎の石孤児院では、カンボジア、フィリピン、ザンビアにおいて孤児たちを受け入れ、孤児院としての働きをしております。また、日本において児童養護施設設立の支援をしていきます。私たちは、さらに多くの国々で孤児院の働きを始めていきたいと願っています。どうぞご支援をよろしくおねがい致します。

支援金送付先

当団体は認定NPOの認可を受けており、皆様のご寄付は「寄付金控除」の対象になります。

郵便振替	【口座番号】 00130-5-24249 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院
銀行振込口座	みずほ銀行 五反田支店 【口座番号】 普通 2069305 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院
銀行振込口座	みずほ銀行 五反田支店 【口座番号】 普通 2915961 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院 日本での孤児院設立及び支援のため
郵便振替口座	【口座番号】 00120-5-417839 【加入者名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院 日本での孤児院設立及び支援のため

礎の石孤児院・会員(パートナー)募集中

私たちNPO法人「礎の石孤児院」では皆様のご支援金によって各孤児院の運営が支えられており、子どもたちが養われております。定期的に支援金をもって支えてくださる会員を募集しております。

- 会費:1口500円~/月 ●お一人様、何口でも寄付できます
- 会費の納入は【一括】もしくは【分割】を選択できます

お申し込みは郵便番号・住所・氏名・電話番号・メールアドレスをお書き添えの上、下記の住所またはEメールアドレスまでお送りください。(※正会員のお申し込みをご希望の方は事務局にお問い合わせ願います)

特定非営利活動法人 礎の石孤児院東京事務局
〒141-0031 東京都品川区西五反田1-14-1 クレイنزヒル岩崎201
TEL:03-5740-8814 FAX:03-5740-8817
E-mail:ishizue@athena.ocn.ne.jp

礎の石孤児院WEBSITE <http://www.cornerstone.or.jp>



ノエくん(左)とチャンくんのお誕生日会の様子(カンボジア孤児院)

皆さまの尊い御支援、御協力、いつもありがとうございます。

先日一時帰国したザンビア孤児院の桜子スタッフが、報告会でストリートチルドレンの問題の主要な原因は「貧困」と話されていました。非常に説得力のあることばでした。両親たちが働いてもまともな賃金が得られない社会構造上の問題があり、子供たちにも満足に食事を与えることができず、当然学校にもいくことができず、結果、ストリートチルドレンにならざるを得なくなってしまう、ということでした。貧困が家庭を、人を破壊していってしまう、とも語っていました。ただ、幸い、と言えるかどうか分かりませんが、孤児院に助けを求め、また保護しているストリートチルドレンの多くは、まだスタッフたちに対する信頼の思いや、互いに助け合う思いを失っていないようです。人の心を失う事の無いよう、孤児院が最後の砦となっていると言っても言い過ぎにはならないでしょう。ザンビアは世界の中で最貧国の一つとも言われているようですが、その子供たちを助けることは、その国を助けることにもなります。皆さまの御支援、御協力が正にその働きとなっています。

ただ、助けを必要としている子供たちが、まだまだ大勢いるのも事実であります。さらに、カンボジア孤児院や、フィリピン孤児院でも、その働きの為に、さらに多くの必要があります。子ども達のために、どうかこれからも、御支援、御協力、よろしくお願い致します。

カンボジア孤児院レポート

ルツ前田

チョムリアブスワ!(こんにちは!)『礎の石孤児院』の働きの為の皆様からのご支援とご協力を、心から感謝申し上げます。今年も、政府機関より孤児院の視察調査の為に来られ、子ども達の生活状況に問題がないかどうかあらゆる面からのチェックが行われました。最後に、すべてを総合しての評価が出されるのですが、今年は昨年よりも評価の数値が良くなっていましたのでスタッフ一同感謝しました。4月に入り、雨の日が少し増えて来ている。今年、雨が少ない傾向にあるようで電力が不足する為として、政府の発表により計画停電が実施されています。そのことを聞いた次の日から、1日5時間の停電が始まりました。停電は朝だったり、午後からだったり時間帯がまちまちではありますが、他の地域では水道がストップするという事態も起きているそうです。私たちの地域では、今のところ水は大丈夫なので助かっていますが、これからさらに暑さが増して来ると、子ども達の体調が守られること、特に仕事に支障が出ないように願っています。また、大学生達へのご支援を心から感謝致します。後期授業料の必要が満たされて、無事にそれぞれの学校に支払いを済ませることが出来ました。ありがとうございました。



政府機関からの視察調査が行われました

フィリピン孤児院レポート

エディー・エミア

フィリピンでは4月6日から夏休みに入りました。今年度も就学支援生全員が無事進級することが出来、皆素晴らしい成績を修めました。2002年から始まった礎の石孤児院就学支援の働きを通して、現在までに合計283名の子どもたちが学校へ通い、その内73名が高校を卒業しました。これも皆様の暖かいご支援ご協力の賜物です。今年度は1名が高校を卒業しました。また10名が中学を卒業し、高校へと進みます。2019年～2020年の学年においては高校生10名、中学生11名、小学生28名、計49名の就学支援を行う予定です。49名の学校登録費、授業料、学校で行われる様々な行事への参加費、靴や制服、その他の学用品などのために合計\$ 7,397.92(約843,000円)が必要です。どうかこのために、皆様のご支援ご協力をよろしくお願い致します。皆様のご支援により、子どもたちに将来への希望が与えられ、明るい未来が開かれていることを心から感謝致します。2019年度も引き続きフィリピンの子どものために皆様の暖かいご支援をよろしくお願い致します。



スアワンの進級式

ザンビア孤児院レポート

シオン桜子ムタレ

ムリシャーニ(お元気ですか)?皆様の日頃のご支援に心から感謝申し上げます。今年、雨が順調だったのは首都ルサカだけで、今年と来年の食料と電力供給に不安を覚えているザンビアです。ある日本の国際NGOが、ザンビアでの活動の一部撤退となり、スラムで運営されていた養鶏所と製粉所を無償で引き継がせて頂けるという有り難い申し出を頂きました。現在その手続きを進めているところです。それに伴い、そのスラムを拠点として孤児への奨学金支援を進めていく事になりました。現在の政府の方向性は、孤児をできるだけ親戚宅等、家庭で育て、NGOには教育費の支援を求めるというものになってきていますが、虐待や、貧困の程度によっては24時間保護が必要な孤児たちもたくさんいます。そこで、将来的には、この教育支援と保護型という二本立てで孤児の救済としていく事になると思います。そのためにも、できるだけ早い時期に土地の購入をする必要があります。どうか引き続き皆様のご支援をお願い致します!



ザンビア人の成功物語のビデオに聞き入る元ストリートキッズ

ブラジル孤児院レポート

松本弘子

皆様のご支援をありがとうございます。こちらはだいぶ涼しくなり、日中は30度近くまで上がりますが、朝晩は冷え込んで、毛布が必要になってきています。先日は、アラサトゥーバ市の中心街にお店を2つ出しておられるマリーオさんを訪問しました。風邪を引いて寝込んだ時に、ご夫婦でフルーツをお土産に自宅を訪ねてくださった方です。久しぶりに訪ねると、日本に行ったのかと思ったと、ブラジル人らしい愛情のこもった皮肉で迎えてくださいました。ご本人は皮肉と思っておられないようで、真面目な顔つきで、もっと頻りに訪問しなくてはと思わされました。マリーオさんは、お店のお客さんで、スーパーにお勤めの女性が日本語を学びたいようだ、連絡先をくださいました。そのスーパーは前の家に住んでいた時に好きでよく通っていたスーパーです。今の住まいからはかなり遠いのですが、久しぶりに行ってきました。日本語を昔少し学んでいたことがあるようで、時々日本語を交えながら、お話をしました。今はお仕事が忙しいため勉強の時間を取ることが難しいそうですが、その後もスーパーに行く度にご挨拶しています。さらに孤児院の働きにつながる関わりが開かれるよう願っています。



マリーオさんと松本スタッフ